

2022年3月期 決算説明資料

2022年5月12日(木)



証券コード:8541

目次

2022年3月期の決算概要（単体）について

| | | | |
|---------------|---|-----------------|----|
| > 決算概要 | 3 | > 有価証券の状況 | 8 |
| > 預金・譲渡性預金の状況 | 4 | > 経費の状況 | 9 |
| > 貸出金の状況 | 5 | > 開示債権・信用コストの状況 | 10 |
| > 個人ローンの状況 | 6 | > 自己資本の状況 | 11 |
| > 預り資産の状況 | 7 | > 配当政策とROEの状況 | 12 |

決算概要

- コア業務純益は前年度比+12億円の95億円となった。
- 厳しい経営環境の中、当期純利益は、8期連続して50億円超を計上。

(単位:百万円)

| | 2020年度 | 2021年度 | 前年度比 |
|---------------------|--------|--------|-------|
| 業務粗利益 | 28,095 | 29,510 | 1,415 |
| コア業務粗利益 | 28,256 | 29,944 | 1,688 |
| 資金利益 | 29,440 | 30,325 | 885 |
| 役務取引等利益 | △ 792 | △ 530 | 262 |
| その他業務利益 | △ 392 | 148 | 540 |
| 国債等債権損益 | △ 160 | △ 434 | △ 274 |
| 経費 | 19,955 | 20,392 | 437 |
| 実質業務純益 | 8,139 | 9,117 | 978 |
| コア業務純益 | 8,300 | 9,551 | 1,251 |
| コア業務純益 (除く投資信託解約損益) | 8,248 | 9,534 | 1,286 |
| 一般貸倒引当金繰入① | 119 | 245 | 126 |
| 業務純益 | 8,020 | 8,871 | 851 |
| 臨時損益 | △ 145 | △ 277 | △ 132 |
| 貸倒償却引当費用② | 1,067 | 853 | △ 214 |
| 株式等関係損益 | 560 | 132 | △ 428 |
| その他臨時損益 | 361 | 443 | 82 |
| 経常利益 | 7,874 | 8,594 | 720 |
| 特別損益 | △ 561 | △ 529 | 32 |
| 当期純利益 | 5,009 | 5,339 | 330 |
| 信用コスト (①+②) | 1,186 | 1,098 | △ 88 |

● コア業務純益 ～前年度比+12億円～

- ・コア業務粗利益
有価証券利息配当金の増加や資金調達コストの減少により、資金利益が増加したことを主因に、コア業務粗利益は前年度比16億円増加。
- ・経費
業務効率化に向けたシステム投資を積極的に行った結果、経費は前年度比4億円増加。

● 当期純利益 ～50億円超で安定推移～

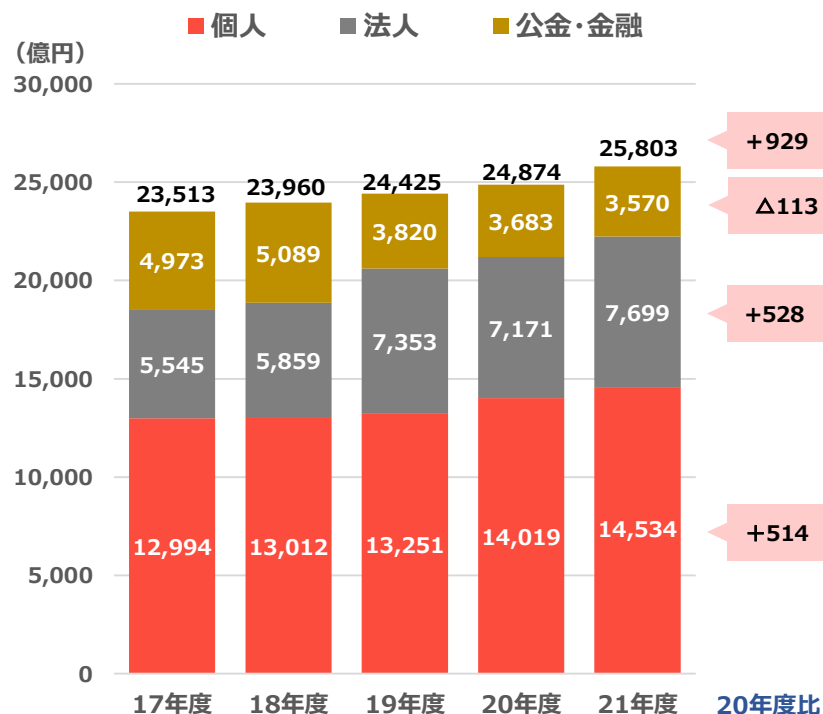
- ・信用コスト
コロナ禍による大きな影響は見られなかった。
- ・当期純利益
通期公表見通し46億円を大幅に上回る53億円を計上。

※各計数については、単位未満を切り捨てた値を記載している。以下特に注記がなければ同様。

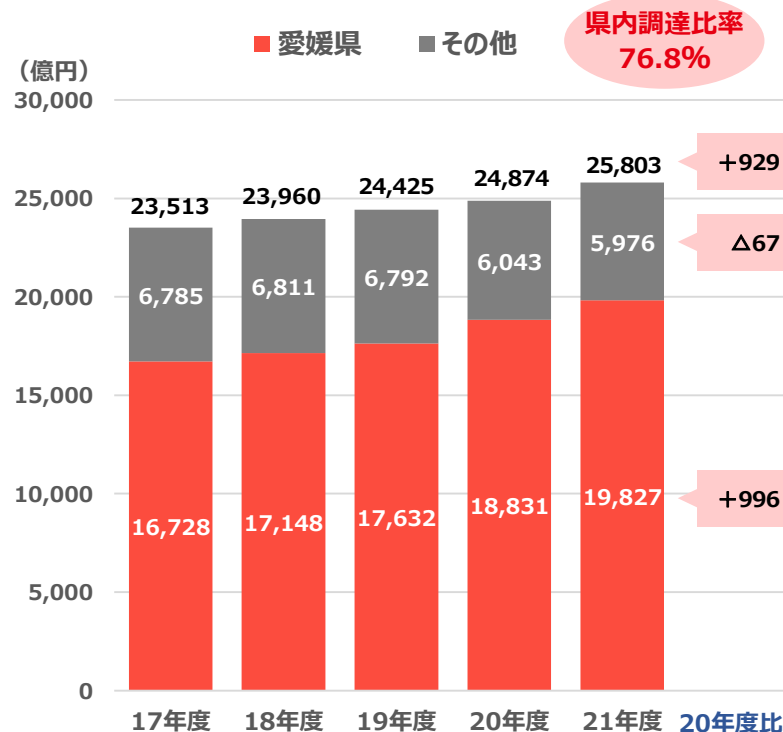
預金・譲渡性預金の状況

- 預金・譲渡性預金（未残）は、法個人預金ともに大幅に増加し、前年度比929億円の増加。
- 愛媛県内における調達比率は約80%で年々増加傾向。

主体別 預金・譲渡性預金（未残）の推移



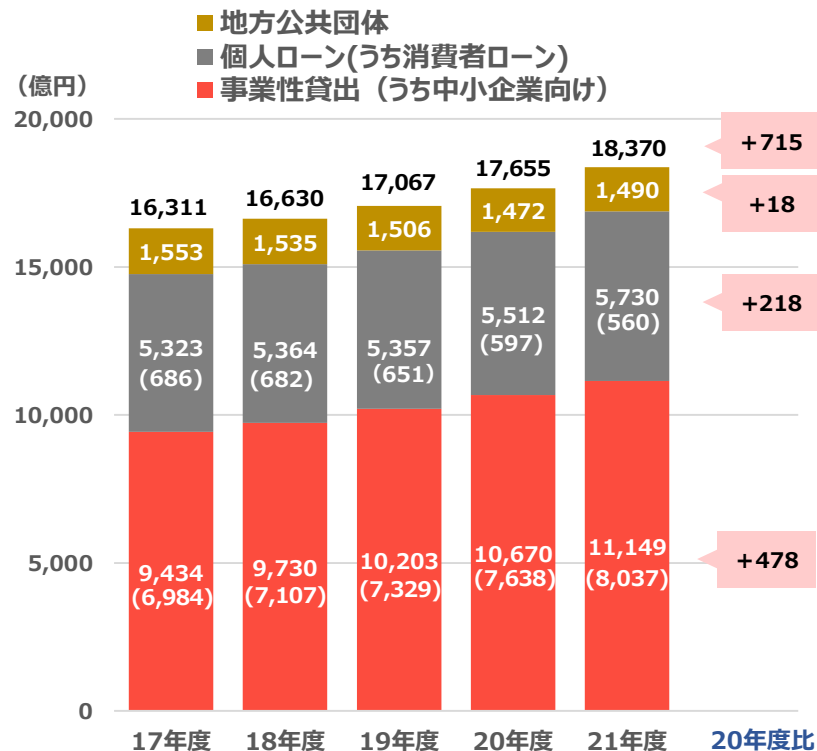
地域別 預金・譲渡性預金（未残）の推移



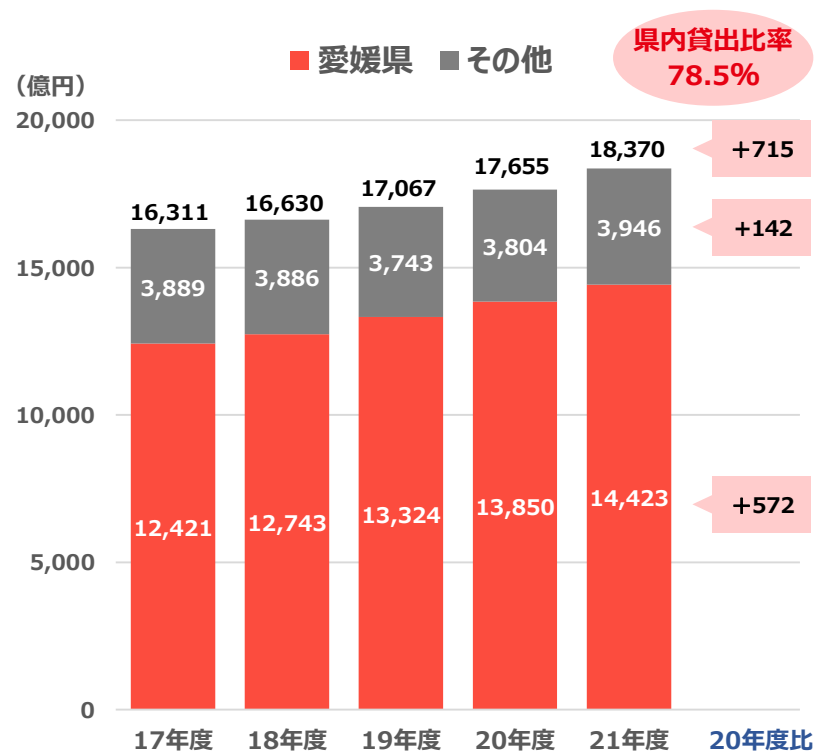
貸出金の状況

- 貸出金（末残）は、中小企業、個人向けを中心に積極的な貸出に努めたことで、前年度比+715億円の大規模増加。
- 愛媛県内への貸出比率は約80%で年々増加傾向。

主体別 貸出金（末残）の推移



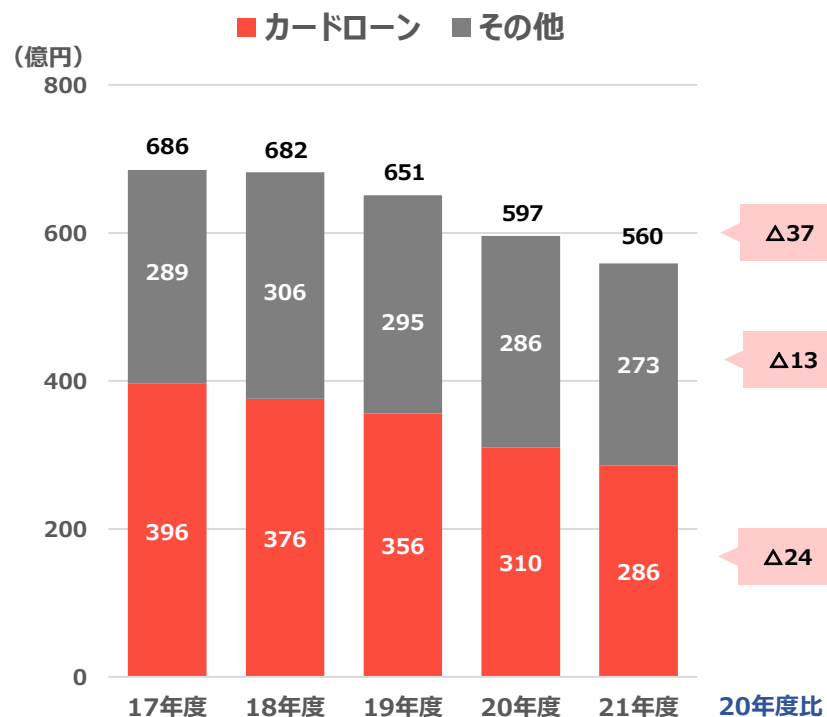
地域別 貸出金（末残）の推移



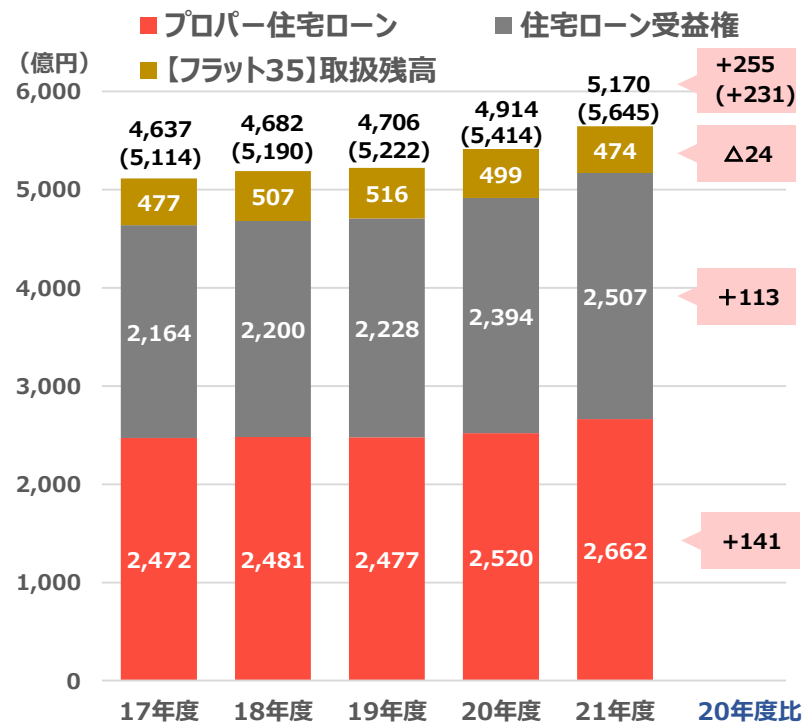
個人ローンの状況

- 消費者ローン残高は、コロナ禍において消費の落ち込みを背景に減少。
- 住宅ローン残高は、WEB商品が好調に推移したこともあり前年度比255億円の増加。

消費者ローン残高推移



住宅ローン関係残高推移

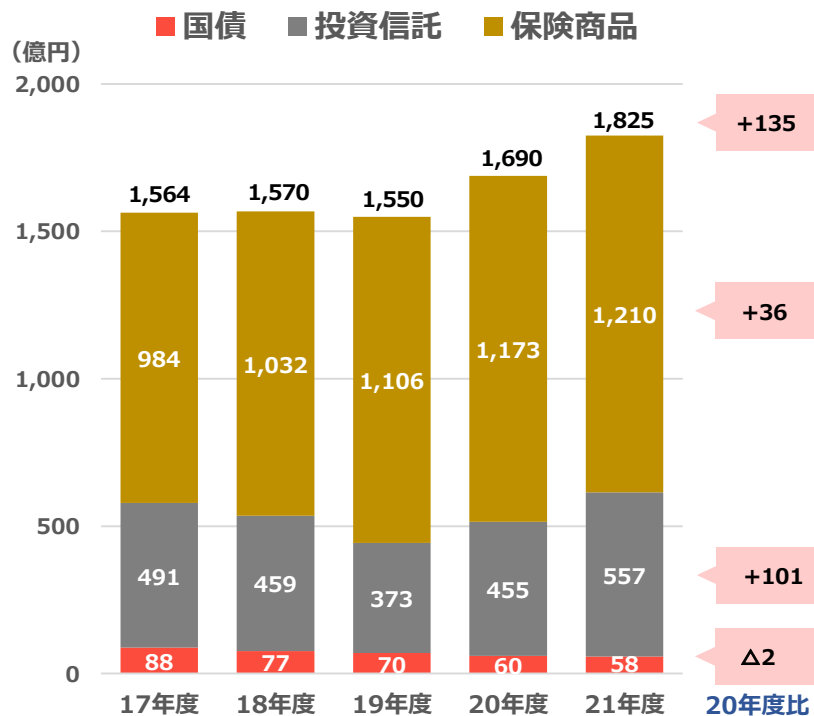


※ () はフラット35含む

預り資産の状況

- 預り資産残高は、投資信託新商品の販売が好調に推移した結果、前年度比135億円の増加。
- 「お客さま本位の業務運営」の成果指標（KPI）をホームページにて公表。

預り資産残高の推移



※保険商品は、販売累計額を記載しております。

成果指標(KPI)について

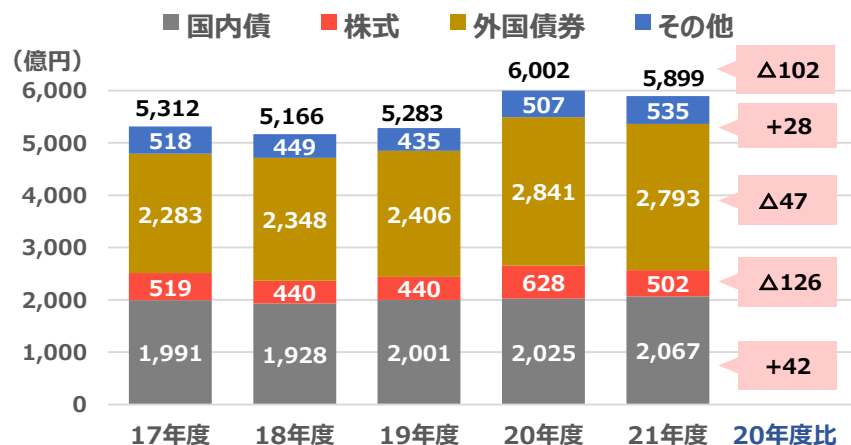
- ・個人向け生命保険平準払い保険の販売推移
 - ・積立投信契約状況の推移
 - ・投資信託販売上位10銘柄の推移
- 等の成果指標を公表しております。
- その他、行内研修の実施や、公的資格の取得奨励を行い、お客さまサービスの向上に努めております。

詳細については[こちら](https://www.himegin.co.jp/policy/fiduciaryduty/)をご覧ください。
 (https://www.himegin.co.jp/policy/fiduciaryduty/)

有価証券の状況

- 有価証券評価損益は、不安定な市場環境の中、2020年度を大きく上回る収益性の向上を達成。
- 有価証券ポートフォリオは、外貨債券を中心としつつ、低金利の継続を踏まえて運用の多様化を継続。

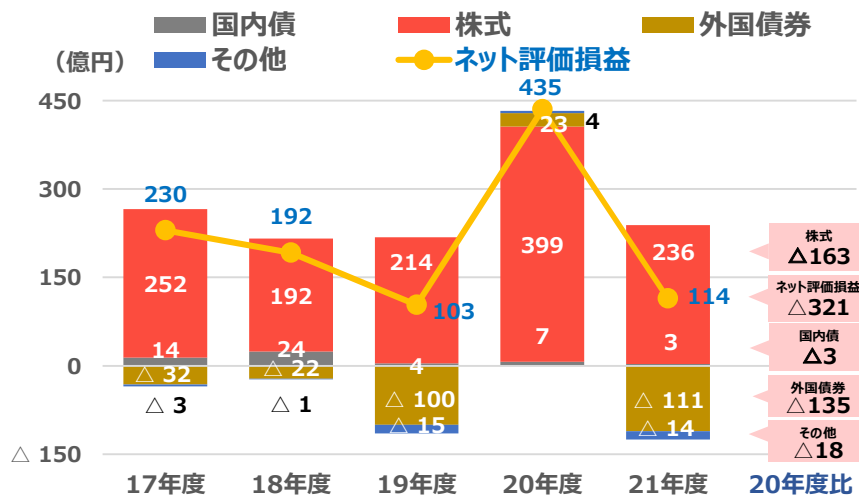
有価証券残高の推移（時価）



※組合出資金勘定を除く。

| | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| デュレーション | 4.7年 | 4.4年 | 3.8年 | 3.7年 | 3.7年 |

有価証券評価損益の推移（その他有価証券）



※組合出資金勘定を除く。

外国債券の通貨別残高内訳

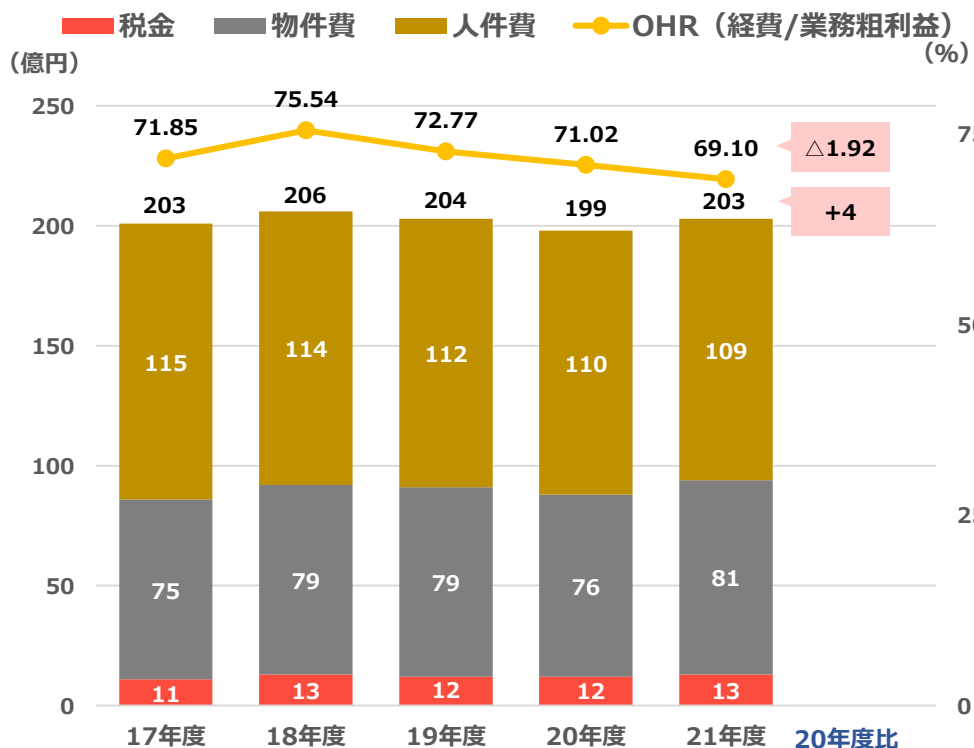
| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2020年度比 |
|-------|--------|--------|--------|--------|---------|
| J P Y | 374 | 297 | 312 | 295 | △16 |
| U S D | 1,888 | 1,920 | 2,039 | 2,055 | +15 |
| A U D | 0 | 0 | 269 | 268 | △1 |
| E U R | 85 | 189 | 219 | 174 | △44 |

※為替リスクは取っていない。（外貨運用・外貨調達）

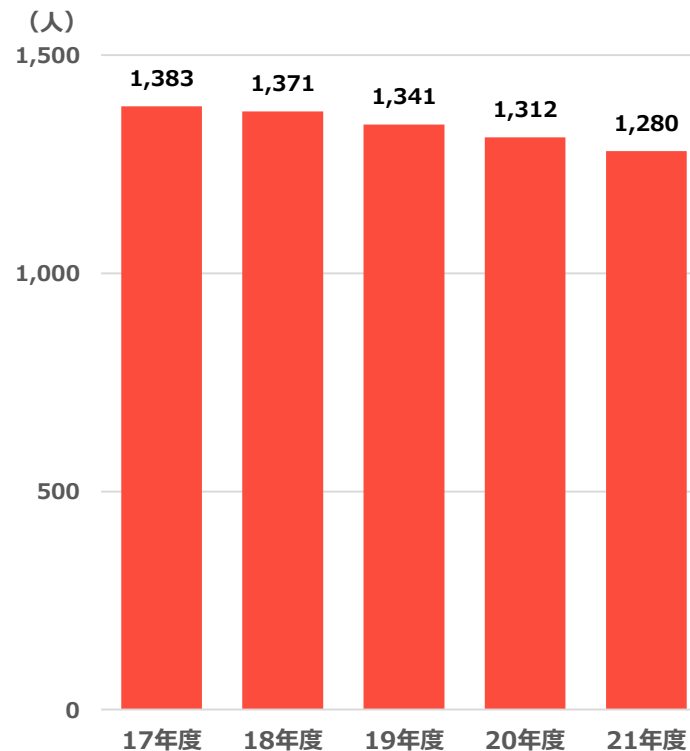
経費の状況

- 経費は、業務効率化に向けたシステム投資を積極的に行った結果、昨年度比4億円増加。
- 経費は増加したものの、業務粗利益の大幅な増加により、OHRは改善。

経費とOHRの推移

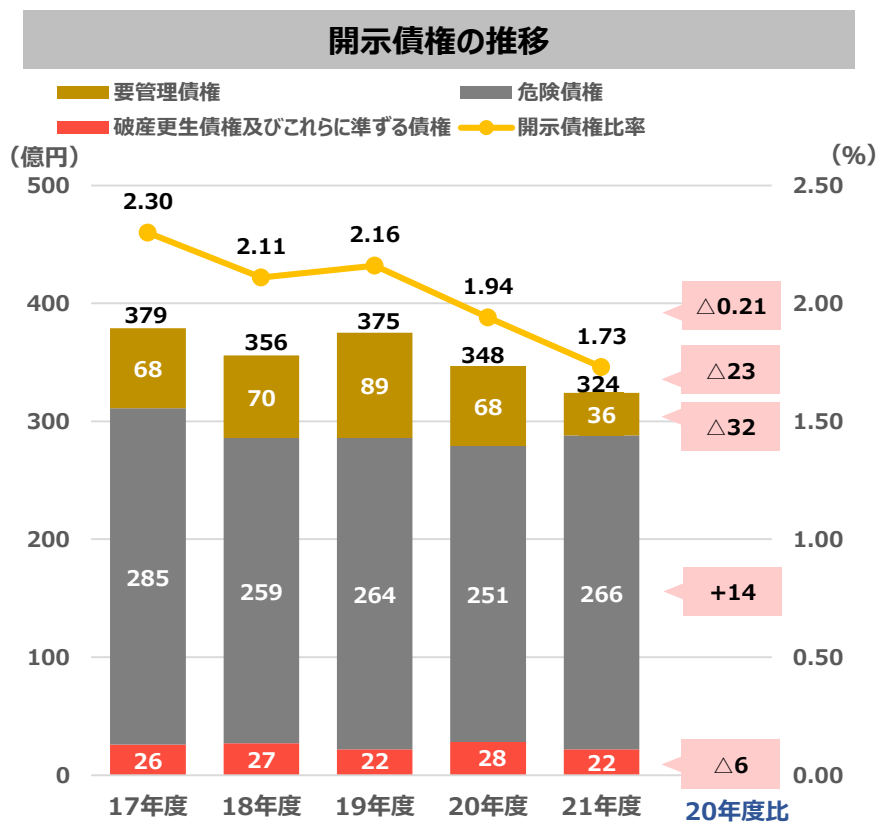


従業員数の推移 (臨時雇員及び嘱託を除く)

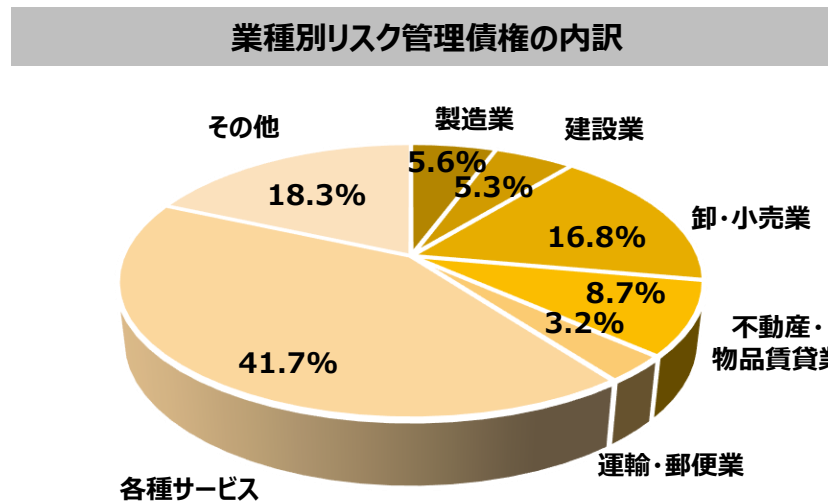
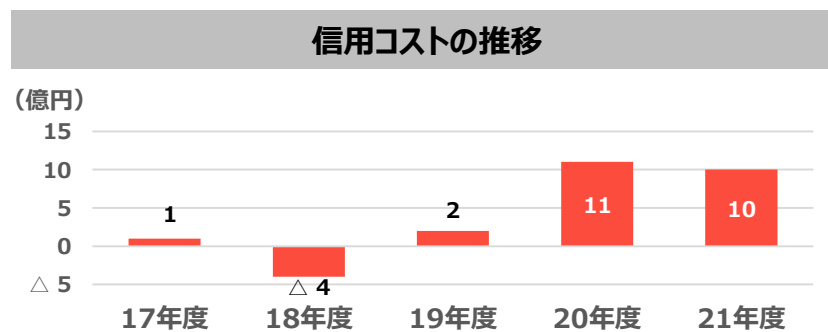


開示債権・信用コストの状況

- 開示債権については、要管理債権を中心に減少。
- 信用コストについては、コロナ禍による大きな影響は見られなかった。



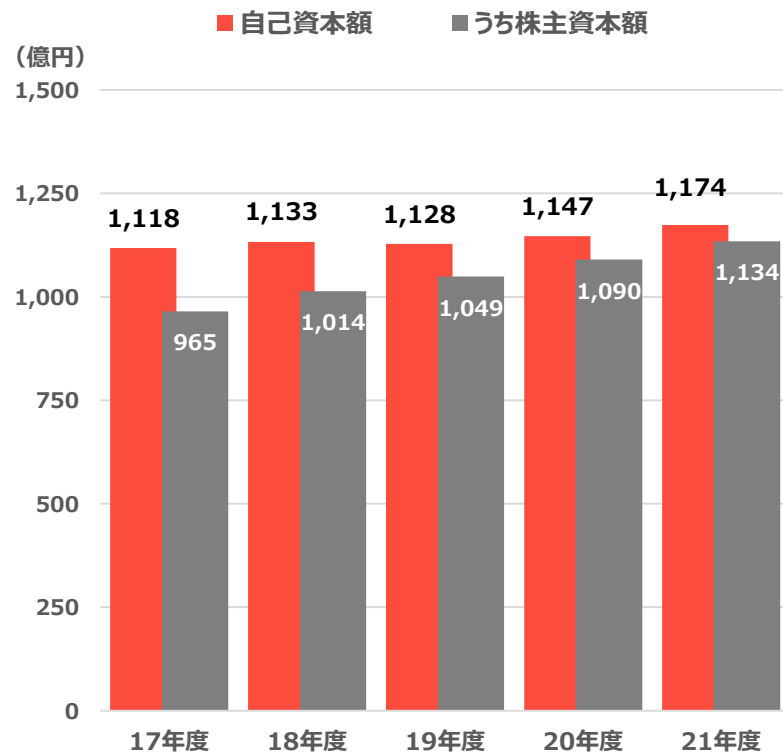
※開示債権の残高については、単位未滿を四捨五入して表示している。



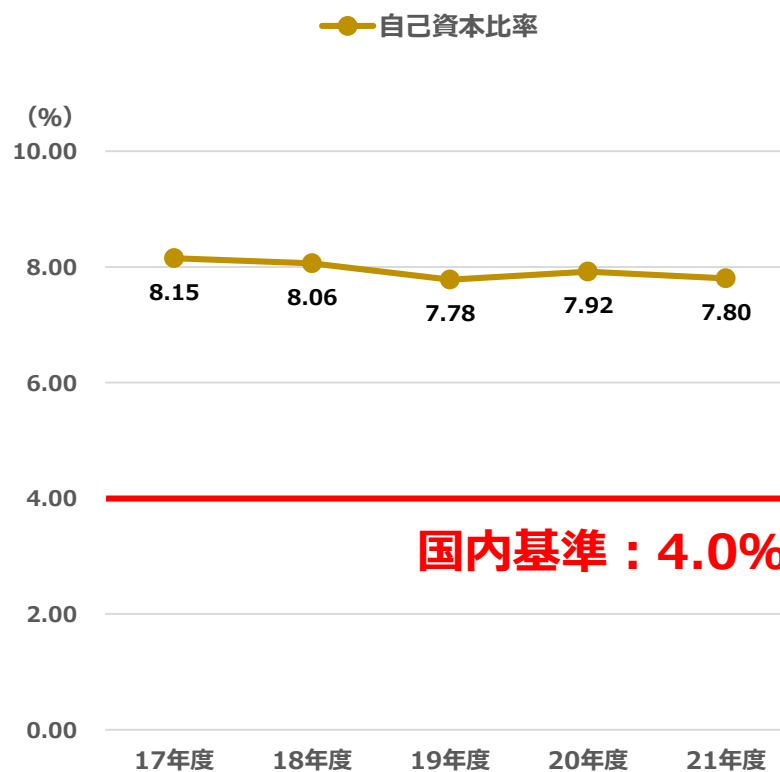
自己資本の状況

- 自己資本額は安定した利益計上により順調に増加。
- リスク管理を適切に行い資本の質についても改善。

自己資本額の推移



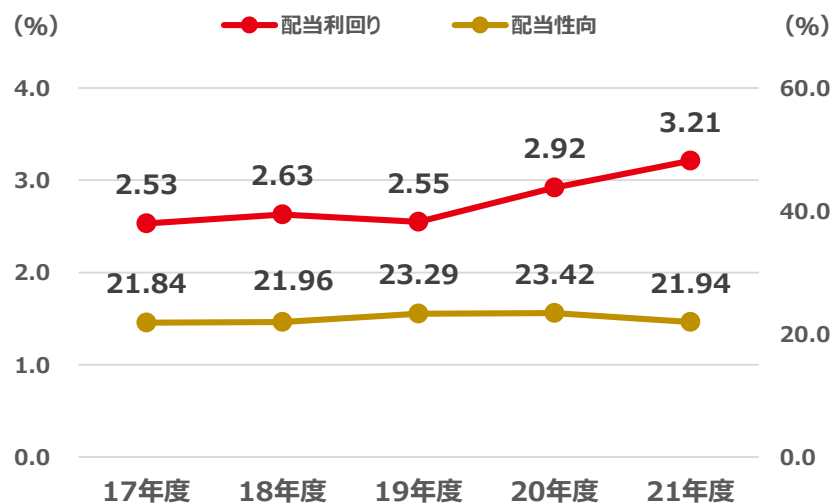
自己資本比率の推移



配当政策とROEの状況

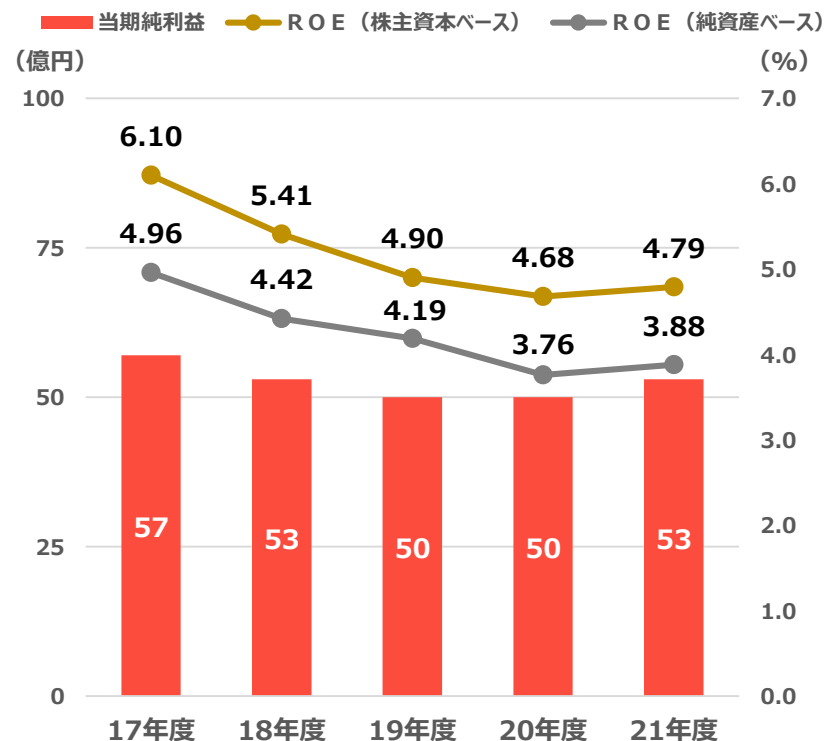
- 毎期30円の安定配当を実施。
- ROEは、増益に伴い上昇。

配当利回りと配当性向



| | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 (予想) |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 配当金 | 32円 | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 |

ROEの推移



本資料は、決算の概要や経営方針等のご案内を目的としたもので、
当行が発行する有価証券の投資勧誘あるいは取引の推奨を目的
とするものではありません。

将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによって
異なる可能性があることにご留意ください。

お問い合わせ先

愛媛銀行 企画広報部

TEL 089-933-1111 FAX 089-933-1027

ホームページアドレス <https://www.himegin.co.jp/>